
【梅園まつり】発足

日本を代表する神社仏閣の参道で甘党を魅了させる「梅園」が集結

～浅草・京都・大宰府の伝統和菓子を日本全国へ～

同じ屋号「梅園」ですが、全くの別会社の3店舗。お客様からは「支店なの？」と言われており、お互いに意識する甘味処でした。この3店舗を引き合わせたのが「新型コロナウイルス」でした。緊急事態宣言による観光地のダメージは大きく、自店の運営にも頭を抱えていましたが、競合の同じ屋号「梅園」も気になっていました。そんな中、声を掛け合い、店舗の存続や味を守り続ける継承などを話し合い、旅行や参拝に出向けないお客様の為に何かできないかを考え「梅園まつり」を発足させました。



(浅草梅園／東京)



(甘党茶屋梅園／京都)



(梅園菓子処／福岡)

【梅園まつり】活動内容

日本を代表する神社仏閣参道の甘味文化を全国に発信する。

神社仏閣の歴史と共に歩んだ甘味食文化を守り続ける事を目的と致します。

- ① 地に根付く伝統の味、言い伝えや秘伝の技法を駆使した、各店の和菓子・甘味を催事やイベントを通じてご紹介して販売を致します。
- ② 日本の神社仏閣参道で同業、同店名「梅園」。地域による甘味文化が異なり参拝客の衣服処として歴史を刻んできた経緯をメディア等に食文化として情報発信を行います。

【梅園まつり】活動時期

神社仏閣の参道にある店舗の為、祭事期などには「梅園まつり」の活動は休止いたします。

1月・7月上旬・9月・12月の催事展開は行えません。*メディア対応は可能です。

【梅園まつり】店舗紹介

屋号：浅草梅園（アサクサウメゾノ） 創業：安政元年（1854年）

社名：株式会社梅園 住所：東京都台東区浅草1丁目31番12号

ホームページ：<https://www.asakusa-umezono.co.jp/>

店舗コメント：浅草寺の別院・梅園院の一角で汁粉茶屋を開いたのが始まり。以来、その餡を使い、季節折々の和菓子を作り続けております。浅草梅園の和菓子は大きいのが特徴で、関東大震災や戦時中の砂糖や小豆は大変貴重であり、浅草寺の参拝客には少しでも甘味でお腹いっぱいになってもらいたいという気持ちが大きさに表れています。



あんみつ



栗きんとんどら焼／どら焼

屋号：甘党茶屋梅園（アマトウチャウメゾノ） 創業：昭和2年（1927年）

社名：京甘食品株式会社 住所：京都府京都市中京区河原町通三条下る山崎町234-4

ホームページ：<https://umezono-kyoto.com/>

店舗コメント：古都京都に昭和初期に創業し甘党を魅了し続ける梅園は伝統の甘味を守りつつ、新たな和スイーツを手掛けている。名物の四角いみたらし団子は舞妓さんが大きな口を開けなくていい様に作られた気遣いの団子です。3代目が手掛ける甘味に京都の老若男女が引きつけられております。



みたらしバターサンド



うめぞの羊羹「抹茶」「ほうじ茶」

屋号：梅園菓子処（バイエンカシヨ） 創業：昭和23年（1948年）

社名：株式会社梅園菓子処 住所：福岡県太宰府市宰府2-6-16

ホームページ：<https://dazaifu-baien.jp/>

店舗コメント：太宰府天満宮御用達梅園菓子処は、戦後に太宰府天満宮参道にて創業いたしました。皇室賢所献上『宝満山』や正月の鶯替え神事にちなんだ『うその餅』などを販売しています。うその餅には1箱にひとつ『うそ鳥』の民芸品が入っており縁起餅としても大変喜ばれています。その他にも太宰府天満宮の神事や太宰府にまつわる菓子を手仕事にて作り続けています。



宝満山



うその餅

【梅園まつり】お問い合わせ先

「梅園まつり」の取り組みについてご興味、ご質問などがございましたらお気軽にお問い合わせください。催事・イベントやお問い合わせの窓口を浅草梅園営業部 羽山が承りますが、契約等に関しましては各店と直接契約をお願い致します。また、商品等の問い合わせに関しましては直接、各店へご連絡をお願い致します。

〒111-0032

東京都台東区浅草1丁目31番12号

株式会社 梅園

営業部長 羽山 健雄

TEL 03-3841-7580

FAX 03-3841-8430

Mobile 090-8722-4274